

コミュニティ 茨曾根だより

第7号

平成30年3月19日発行

発行：コミュニティ茨曾根
連絡先：新潟市南区3443
茨曾根地域生活センター
Tel. 375-2035

協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。

世代間交流事業 1月27日（土）



地域の宝に触れる講演会として、太々神楽舞と庚神楽に実演披露して頂きました。どんど焼きでは、今年子どもたちだけでなく保護者の方にも参加して頂き、より多くの人出で賑わっている様子が伺えました。外は非常に風が強くて冷えましたが、その分どんど焼き後の豚汁や甘酒のふるまいを一段とおいしく頂くことが出来ました。ご協力下さいました皆様、ありがとうございました。

- ◇平成29年度役員構成◇
- | | | | | | | | | | | | |
|-----------|------|-----|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|
| 顧問 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 理事 | 監事 | 監事 | 会計 | 副会長 | 副会長 | 会長 |
| (茨曾根小学校長) | 白澤陽子 | 仲野正 | 佐野虎男 | 関根辰巳 | 栗田正一 | 石山俊夫 | 中島薫 | 宮本博明 | 関根利廣 | 山際和美 | 高木忠明 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
- (理事兼務) 関根辰巳

5月9日（火）、茨曾根地域生活センターにおいて定期総会が開催され平成29年度の体制がスタートし、運営を進めてまいりました。皆様のコミ協活動へのご理解・ご協力に感謝いたします。今年度の主な活動を本誌コミュニティ茨曾根だより第7号にて報告させていただきます。

平成29年度
活動報告



桃の花見茶会

4月22日(土)

清水ふれあいセンター裏 桃畑

今年度で17回目となった桃の花見茶会は、ちょうど桃の花が満開となった最高のタイミングでの開催となりました。会場では野だての他、お箏やオカリナ、茨曾根小学校児童の発表も披露され、多くの人出でにぎわいました。

第2回 茨曾根「桃の花」俳句・川柳コンテスト



【川柳部門】応募二十四句
 選者 小越龍之介先生(しろね市民大学 川柳と遊ぼう講座講師)

《大賞》 もものはな そらといっしよに わらってる
 (コメント) 情景がありありと浮かび、七歳児童の感性の豊かさを感じさせてくれる俳句。

《入賞》 風に舞う ピンクの花も うれしそう
 《入賞》 桃の花 君の香のせて 春の宴

【俳句部門】応募七句
 選者 中野太浪先生(小須戸俳句同好会 会長)

《大賞》 亡き父母の 畑に集ひし 桃の花
 (コメント) 桃の花を賞でながら幸せいっぱいの大勢の人たちの賑わいが目に浮かびます。その畑は、今は亡き父母が懸命に働いて桃を育てた土地なのです。目を細めて微笑んで眺めている天国のお父さん!お母さん!と呼びかけているようです。

クリーン作戦

7月2日(日)に毎年恒例のクリーン作戦を実施し、自治会ごとの計画に沿って中之口川堤防と各自治会内の清掃を行いました。参加者は地域住民総勢265名に加え、一般企業さんからも参加の申し出がありご協力を頂き、きれいに清掃することができました。



茨曾根地区自主防災会 自主防災訓練



新聞紙食器・スリッパ作り



講話のようす

7月9日(日)、茨曾根地区自主防災訓練が実施されました。訓練内容として避難訓練・避難所開設訓練とともに、今年度は中越防災安全推進機構の担当者をお招きし、避難所運営についての講話をして頂きました。また、新聞紙を使ったの食器・スリッパ作り体験も行い、参加者の関心をもって取り組む様子が伺えました。

茨曽根夏祭り

8月20日（日）

茨曽根小学校グラウンド

今年度は日曜日の開催ということもあってか大変多くの人出で賑わい、ステージも出店も大盛況でした。観覧席では日よけのテントも数カ所ですが用意され、暑かったですが少しでも快適に観覧できたのではないのでしょうか。楽しいお祭りも実行委員会の皆さんのご協力があったからこそです。本当にありがとうございました。

皆で輪になって
茨曽根音頭



音響の不具合で2回も全力の踊りを披露してくれた白南中学校『凜舞翔魂』ありがとう！



大抽選会
目玉は旅行券
3万円分！



大門裕子さん
オンステージ



子どもに大人気
トッキッキ



茨曽根地区敬老会



謝辞の様子

10月1日（日）、茨曽根小学校体育館にて開催されました。74名の招待者が出席され、食事をしながらのわいわいとした雰囲気の中、ステージでのほほえましい子どもたちの発表や、越後替女唄などを楽しむ様子が伺えました。



歌&ハンドベル



越後替女唄ステージ

樽ばやし教室

今年度より新しい講師も迎え、子どもたちを中心に月に2回程練習に取り組み、発表の場として夏祭りや敬老会、茨曽根地区芸術祭等のイベントで成果を披露しました。



茨曽根地区芸術祭での発表

茨曾根地区

コミュニティ懇談会

7月20日(木)、茨曾根地域生活センター2階講堂において茨曾根地区コミュニティ懇談会(区長と語る会)が開催され、渡辺区長、南区担当課長らと活発な意見交換が行われました。内容については以下の通りご報告いたします。

主要テーマ① 保育園の入園について

地区民でも地区内の保育園に入れない場合があるため、入園の基準を教えてほしい。また、保育園から小学校に同じメンバーで入学できれば良いと思うが、地区民優先の入園は可能かどうか。

回答：市内の保育園であればどこでも選べるのが今の保育園の制度です。その地区を優先することはありません。入園の基準は点数制度になっています。保育園の定員、面積要件、職員の配置基準もあります。例えばそよ風で3歳児が満杯になっていると、空いている保育園を探し



ていつていただけませんかという話になります。10月までに来年何人入るかということが分かれば、対応できるようにしていますので、10月までには申し込みをしてください。

なお入園基準は、家で見られない人は点数が高くなる仕組みになっているので、皆さんからもご理解をいただきたいと思っています。

保育園は学区がないため、そよ風保育園にも各区から通われています。保護者の仕事先の都合で他区に預けている方もいますので、地元の人だけということになると不公平が生じますので、これについてはご理解いただきたいと思っています。

ただきたいと思っています。出産後すぐに子どもを預けて仕事に復帰したい、年度途中で預けたい場合だと、保育士を年度の途中で探すというのは至難の業です。第2希望

の園に入ったとしても、10月以降、新年度に向けた調整の中で転園という手続きも可能ですので、ご理解いただきたいと思っています。

例えば仕事をリタイアされた方で、子育てを経験なさった方であれば保育士の資格は必要ない気もするが、駄目でしょうか。

回答：補助として資格のない方や子育て経験のある方も活用しています。基本的には資格者が担うことになっていきますので、集団保育の視点で専門の勉強をされてきた方から保育をしていただくのがベストだと考えています。

やっぱり第一希望で望んだ所に優先してお願ひしたいと思うがいかがか。

回答：できる限り調整をしています。が、今の制度では点数制で見にくい。しかしながら、働く親の支援のためが第一の目標ですので、そこはご理解いただきたいと思っています。要望があったことは保育課に伝えませんが、今の制度を根本的に変えなくてはならないので難しいと思います。

主要テーマ② 健康寿命の延伸について

役所でテーマを決めて月に1回程

度高齢者向けの集まりを企画しても、ならないか。老人会や地域の茶の間などが、老人にとっては、良い機会になるだろうと思う。

回答：今後の高齢化予測から、地域包括ケアの対応は非常に重要になってきます。地域の茶の間は総合事業の対象になるので、地域でぜひ週1程度の開設をお願いしたいと思えます。今からの準備が必要で、皆でお年寄りを支えていく仕組み作りが大事だと思っています。

主要テーマ③ 乗り合いタクシーについて

乗合タクシーは、特に高齢者にとって便利なシステムだと思うが、それが必要な人に上手く情報が届いていないと思う。チラシもわかりづらく、周知の仕方を工夫してほしい。

回答：南区では9つのエリアでデマンドタクシーを運行しています。年間利用者は二千人くらいです。運行開始から利用者の意見を聞きながら、運行エリアや便数の改善を行ってきました。今後も皆さんの意見を聞きながら、改善をしていきたいと思っています。

昨年度から大人のためのバス教室という公共交通関係の出前講座を行っていますので、呼びびただけでは説明に伺います。また、自分だけの

時刻表を作るサービスもありますので、ぜひご相談ください。

燕市の乗合タクシーは電話予約すると、自分の家の近くで乗せてくれる。東萱場では上と下で距離があり、真ん中に住んでいる人はどうすればいいと問題になったことがある。バス停を作れるものか。

回答：南区のやり方としては、乗合タクシーと言っていますが、区バスを補完するという意味で基本はバス停での乗車としています。ただし、帰りに限りバス停間でも降りることができません。申し訳ないですが、今の制度ではこの形でやっています。バス停の新設については、後でお話を聞かせてください。

新潟の第一観光タクシーでは、テレビで宣伝しているが、タクシー会社が電話予約で送り迎えをしているようだ。料金は市から補助もらっているという話だけ。

回答：確認してみます。

乗合タクシーのチラシは、除外されている地域がある。

回答：その地域は小林地区のチラシに入っていますので、後日お届けします。

テーマ外の要望、質問等

工事の要望について

ある工事で何度も区役所に相談に行き、現場確認してもらい、工事をすると聞いた。それが翌年になり再度確認したら、その件は分らないと言われ、当時の職員は異動でいなくなっていて、予算がない、順番待ちと言われた。いつやるのか確認しても返事がない。

回答：大変な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。昨年度から建設課の職員を地域応援団として各コミュニティ協議会に配置をして、要望については優先順位を決めて、いつできるのかできないのかを地元の方々と話をするシステムにしました。再度その話については建設課と話をしていただければと思います。

市道の草刈りについて

市道の草刈りを何度も要望しなければ市道の草刈りをしてもらえなかった。

回答：よく指導をしておきます。そのために地域応援団を作っていますので、ご勘弁いただきたいと思えます。

コメの作付について

来年のコメの關係の情報が入らないので困っている。ある新聞によると、コシヒカリではもうだめだと。安く手に入るコメを消費者が望んできているので、市はどういう考えか。

回答：多様なコメ作りをしていかなければだめだということは事実ですが、県が推奨している品目はコシヒカリと新之助等です。飼料米の交付金はいずれなくなる可能性はありますが、今は推奨しています。

30年産以降の生産調整については、ある程度目安を示そうということと、国が自給の見直しをし、公表をしています。それを受けて県から各市町村に数量が示されます。農家には面積に応じた目安をこれから示す準備をしていますので、ご安心いただきたいということと、コメは価格の面から予想がつかないため、転作は今後も進めてほしい考え方変わっていません。決まり次第ご報告できると思います。

児童館の利用について

児童館に学校の子どもがランドセルを担いでいくのは禁止されているから、国道から東側の人はほとんど来ていない。制限をしない方がいいと思う。

回答：放課後児童クラブは学童保育として、学校から帰っても家に一人していると危ないからお預かりしているものです。児童館は子供の遊び場として自由に来館するものですので、原則として学校から一旦自宅に帰ってもらい、遊びに来る施設です。

防災スピーカーについて

先般の防災訓練時に、防災スピーカーが聞き取りにくかった。

回答：ご要望いただければ、私たちが反省点として来年のために改善したいと思えます。

歩道の除雪について

丸瀧地区で国道に面している住宅があり、去年は除雪されてなかった。ので対応してもらいたい。

回答：8号は新潟国道工事務所の管轄なので改めて要望しますが、歩道除雪は一带だけでなく他の歩道除雪路線と繋がらないとだめだという原則があるので、確認してご報告します。

「茨曽根の魅力再発見」事業

茨曽根地区内の各所に古くから語り継がれている「昔がたり」にまつわる標柱が立っているのをご存知ですか？現在、古くなった標柱の代わりとなる新たな歴史紹介看板を作成しようと茨曽根小学校の子どもたちと一緒に取り組んでいます。

課外授業のようす



現在設置してある標柱のうち的一本です。経年劣化により、文字が見えなくなってきました。新しい看板はどんなデザインになるのか楽しみです。

茨曽根小4年生 総合学習での取り組み



4年生の総合学習では各所の歴史について学び、課外授業で実際に地域の詳しい方に話を聞きに行ったり、グループに分かれ自主的に調べたりと積極的に取り組んでいます。新しい歴史看板の設置場所の選定もコミ協と一緒にいき、また子どもたちの絵を看板に取り入れようと準備しています。

看板設置後はどう活用していく？ 他地区のまちづくりを視察

新しい看板設置後の活用として、茨曽根歴史探訪ウォーキングをやってみたらどうか？という声が上がっています。そこで、町家を活用したまちづくりに取り組んでいる小須戸地区へ視察研修に行ってきました。まち散策のためのマップや歴史・産業を紹介するパンフレットの作成や、閉店した商店を常時見学可能な町屋ギャラリーとして、また地域活動の拠点として活用するなどの取り組み、ほかたくさんのお話を聞かせて頂き、今後の活動に活かすためのヒントを得られたと思います。



東萱場
玄竜寺にて

手作り作品づくりを楽しもう！

手作りクラブ

手作り作品を作ったりクッキングを習ったりのお楽しみクラブ。白根南児童館の職員さんのご協力のもと、茨曽根地域生活センターにて1年間、月1回ペースでの活動を行いました。ポップアップカードやクラフト工作などたくさんの作品づくりにチャレンジできました。



クラフトバッグ
上手にできました



作品作りの様子

茨曽根地域生活センターからお知らせ

すでに回覧でもお知らせしていますが、廃天ぷら油の回収を地域生活センターにて行っています。回収日を定めていませんので、開館時間であればいつでもお持ちいただいて結構です。センターに入ってすぐ左手に黄色の旗と青い回収用ボックスがありますのでそちらにお入れ下さい。



ボランティアさんのご協力により、地域生活センター玄関ホールの模様替えをしました。お立ち寄りの際は是非ご覧になって下さい。

